

根室市のまちづくり・市政推進のために取り組むべき課題

SDGs への取り組みについて

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015 年 9 月の国連サミットで採択され 2030 年を年限とする、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため 17 の国際目標 (その下に 169 のターゲット, 231 の指標が決められている) です。

人口減少、地域経済の縮小等の課題を抱える地方自治体にとっても SDGs 達成へ向けた取組は、地域課題の解決に資するものであり、SDGs を原動力とした地方創生を推進することが期待されている。

根室市においても地方創生総合戦略 (後期計画) に SDGs の達成を掲げましたので、今後は、全市レベルの推進組織の設置、総合計画をはじめ各種計画へ SDGs の要素を反映させ、その進捗を管理する手法の確立や情報発信、さらには企業や市民との成果の共有等に取り組むことも必要と考えます。

SDGs の取組は自治体に限らず企業においても取り組むべきテーマであり官民連携による取組みも必要であり、経済・社会・環境の三つの側面から地域課題とその解決のための目標設定 (評価指標の設定なども含め) を行い、市民が安心して暮らし続けることができるまちづくりと地域の活性化に資する活動として展開していかなければなりません。

※参考

内閣府では、我が国における SDGs の国内実施の促進及びそれに資する「環境未来都市」構想を推進し、より一層の地方創生につなげることを目的に、地方自治体・地域経済に新たな付加価値を生み出す企業・専門性をもった NGO・NPO・大学・研究機関など、広範なステークホルダー間とのパートナーシップを深める官民連携の場として、平成 30 年 8 月 31 日に「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」を設置しました。根室市もその会員になっています。

本田俊治と明日の根室をつくる会 (討議資料)

http://nimuoro.lekumo.biz/tomorrow_nemuro/

mail : tomorrow.nemuro@gmail.com

最近よく知られるようになったダイバーシティー（多様性）の概念。この概念を改めて確認すると、主に人の属性（性別・人種など）の多様さを意味する。またこれに関連して言われるのがインクルージョン（包摂性 ほうせつせい）の概念。こちらはいかなる属性も排除されない状況を指す。

社会的包摂あるいはソーシャル・インクルージョン（英: social inclusion）とは、社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。